

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F115310105113	設置等組織名	新潟医療福祉大学医療情報経営学部健康データサイエンス学科
大学名	新潟医療福祉大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	新潟	事業計画名	新潟医療福祉大学医療情報経営学部健康データサイエンス学科 設置計画

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和6年度	1-① 令和6年1月・・・ワーキンググループ設置と学科設置構想の検討 1-② 令和6年4月・・・企業等との設置構想に関する協議未実施 1-③ 令和6年7月・・・高等学校への入学意向調査及び企業等への採用意向調査 1-④ 令和6年7月・・・学科設置に関するPR活動開始	1-① 令和6年1月・・・ワーキンググループ設置と学科設置構想の検討 1-② 令和6年4月・・・企業等との設置構想に関する協議未実施 1-③ 令和6年7月・・・高等学校への入学意向調査及び企業等への採用意向調査 1-④ 令和6年7月・・・学科設置に関するPR活動開始 1-⑤ 令和7年3月・・・医療情報経営学部健康データサイエンス学科について、入学定員を60名から45名に変更。計画変更承認通知（令和7年3月28日）	令和6年度自己評価	【2】計画を十分には実施していない。 設置構想を検討するためのワーキンググループ立ち上げは計画通りのスケジュールで実施され、定期的な会議を行い設置構想の内容を検討してきた。計画では、企業等との協議を行いながら設置構想の内容を検討する計画であったが協議を行う企業を確保することができず今年度においては未実施という結果になった。 また7月に行ったニーズ調査アンケートの結果を踏まえて入学定員を当初計画の60名から45名に計画の変更を行った。オープンキャンパスや高校訪問の際のPR活動は定期的に行っている。
令和7年度	2-① 令和7年9月・・・健康データサイエンス学科設置のため既設1A棟改修 2-② 令和7年9月・・・学生募集活動開始	2-① 令和7年9月・・・健康データサイエンス学科設置のため既設1A棟改修 2-② 令和7年9月・・・学生募集活動開始	令和7年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。 計画通り、施設の改修工事と学生募集活動を8月末の認可後、即時に取り組むことができた。
令和8年度	3-① 令和8年4月・・・学科運営開始 3-② 令和8年4月・・・入学対象者向け入学説明会の実施 3-③ 令和8年4月・・・次年度に向けた学生募集活動開始		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度	3-① 令和8年4月・・・学科運営2年目開始 3-② 令和8年4月・・・入学対象者向け入学説明会の実施 3-③ 令和8年4月・・・次年度に向けた学生募集活動開始		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度	3-① 令和8年4月・・・学科運営3年目開始 3-② 令和8年4月・・・入学対象者向け入学説明会の実施 3-③ 令和8年4月・・・次年度に向けた学生募集活動開始		令和10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度	3-① 令和8年4月・・・学科運営4年目開始 3-② 令和8年4月・・・入学対象者向け入学説明会の実施 3-③ 令和8年4月・・・次年度に向けた学生募集活動開始		令和11年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和7年3月・・・文部科学省へ学科設置認可申請予定 令和7年4月・・・文部科学省へ学部名称変更の事前相談予定 令和7年9月・・・学科設置認可予定 令和7年9月・・・学部名称変更の届出予定	令和7年3月・・・文部科学省へ学科設置認可申請 令和7年4月・・・文部科学省へ学部名称変更の事前相談		
定員減又は 学部等の廃止				

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	新潟医療福祉大学
-------------	-------	-----	----------

2.申請資格の確認

- i) 学生募集停止中の大学
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学
- 上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	i)	ii)	iii)	iv)	v)
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

- ① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□
- ② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。
- ③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。
- ④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。
- ⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。
- ⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。
- ⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。
- ⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。
- ⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。
- ⑨ 事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）
- ⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。
- ⑪ フェーズ3の助成期間終了時まで、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。
- ⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。
- ⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。
- ⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、令和7年度 の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

※については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件※について	現在の状況
※文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

- 【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）
- チェック

a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック

b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック

c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
具体的な取組についてはフェーズ1期間中に検討する予定である。 a.本学は既に複数の地域の医療機関と連携し、教育・研究活動を行っており、本学科においては地域の医療機関と協働して行う連携科目を実施する予定であり、医療分野に進みを持つデータサイエンス人材の養成を行うため事前協議を重ねながら環境の整備を行う予定である。 さらに、本学は社会福祉法人、新潟県社会福祉協議会および社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会と包括連携協定を締結しており、データ分析を活用した支援や福祉施設等においてeスポーツを通じた交流・取り組みによる本学との更なる連携を目指す計画もしている。 それに加え地域のIT企業や先端技術開発やシステム構築等を行っている講師を招き、設置科目において講義を実施していただくとともに、地域行政や医療および福祉施設や企業と協働した課題解決に取り組む実践的な学びを得られるPBL科目の配置を検討している。 b.既に情報学部を設置している開志専門職大学と連携を行い、科目の整備・実施を行う予定としている。 また、本学の特色である学科の枠を超えて多職種連携を実践的に学ぶ「連携総合ゼミ」の特徴を活かし、他学科との連携教育をさらに発展させるPBL科目の配置の検討を行う。	a.教育課程の中で「インターンシップ実習」を開講予定としており、実習先として医療機関や社会福祉施設、IT企業を中心とした一般企業など複数の実習先を確保している。開講は3年前期の予定であり、具体的な内容についての協議は今後行っていく予定である。 b.開講準備のため担当教員との協議を開始した。	a.アプローチはしているが、定期的に協議を行うような企業が確保できていない状況。教員の人脈を中心に企業との連携は強化していく方針。 b.課題は特になし。これから内容をより具体化していく動き。

- 【B：多様な入学者の確保に向けた取組】
- チェック

a.入学者選抜における科目の見直し
- チェック

b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック

c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック

d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック

e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
b.女子学生確保に向けた取り組みとして、受け入れの強化を行う計画である。具体的には、本学科女性教員および学生による女子高校生が理工系分野の学びや体験を通して興味・関心を高め、理系進路選択についての理解を深められるような講演や説明会を行う。開設後は本学科に入学した女子学生に協力してもらうことにより、女子高生の年齢に近いロールモデルを示せることとなり、理系進路を選択した自らの将来を具体的に描く助けとなる。このような取り組みにより女子学生に向けた広報を強化するとともに、入学者選抜においても女子学生の受け入れのための選抜区分を設ける取り組みを行う。それに伴い女性教員の積極的な採用を行う計画である。 c.小学校・中学校・高等学校などの教育機関との連携も検討している。本学では既に様々な出張講義のラインナップを用意しており、積極的に出張講義を行っている。近年プログラミング教育や情報教育の必修化や充実が教育機関では図られている。そのような背景のもと、より教育内容の充実の一助となるべく教育が学校に伺い講義を行う出張講義の積極的な取り組みも計画している。 また、今年度（2023年度）より、小学生を対象としたキッズオープンキャンパスの実施を行った。内容としては授業体験や施設見学等のプログラムを実施した。この取り組みを今後も継続して実施することにより地域の小学生との連携をさらに深めていき、特定成長分野の人材育成における魅力等を発信していく計画である。 e.留学生受け入れ強化のための新たな選抜区分設置の検討も行う。	b.教員のほとんどが開設に合わせて着任するため女子学生に限定したアプローチはまだ具体的には取り組めていない状況。それでもオープンキャンパスでは「スポーツ」の分野を入口として女子学生から比較的高い割合で興味・関心を得ることができた。 入学者選抜についてはまだ具体的な検討は進んでいない状況。 c.主に中学校・高校をメインに出張講義を複数回行った。部活動の学生を対象とするような「スポーツ」にフォーカスした出張講義の実施も行った。 e.留学生受け入れのための選抜区分を用意し、複数な入学者を確保できた。	b.オープンキャンパスや高校訪問を通じて全体的な認知を広げていくような活動を中心に行っており、女子学生に絞った活動には至らなかった。開設に合わせて教員数も増加したため学生へのアプローチは今後強化可能な見込みである。 c.連携校を中心に出張講義の機会を増やし、また内容についてもニーズのある「スポーツ」分野以外の魅力についても訴求を行っていく。 e.留学生向けの選抜区分を用意したこともあり、今年度は6名の留学生を獲得することができた。今後は入学生にヒアリングを行いながら、より多くの志願者獲得のための施策の検討を行う。

大学名	新潟医療福祉大学
-----	----------

本事業対象となる学部等の個数	1
----------------	---

1.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>
(1)

改組内容	既存学部における学科の新設
学部学科名	医療情報経営学部健康データサイエンス学科（保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。））、工学関係）

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
改組状況				選定		開設																
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	事業計画に定める定員	入学定員	人			45																
		編入学定員	人			-																
	春季入学	入学定員	人	-	-	45																
		入学者数	人	-	-	30																
		女子学生数	人	-	-	8																
		社会人学生数	人	-	-	1																
		留学生数	人	-	-	6																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	45																
		入学者数(B)	人	-	-	30																
		女子学生数	人	-	-	8																
		社会人学生数	人	-	-	1																
		留学生数	人	-	-	6																
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	0.67																
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	45																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	-	-	30																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	0.67																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の 参画	教員数	人	-	-	6																
		授業科目の単位数	単位	-	-	16																

大学名	新潟医療福祉大学
-----	----------

2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	45																
		入学者数	人	-	-	30																
		女子学生数	人	-	-	8																
		社会人学生数	人	-	-	1																
		留学生数	人	-	-	6																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	45																
		入学者数(B)	人	-	-	30																
		女子学生数	人	-	-	8																
		社会人学生数	人	-	-	1																
		留学生数	人	-	-	6																
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	0.67																
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	45																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	-	-	30																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	0.67																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の 参画	教員数	人	-	-	6																
		授業科目の単位数	単位	-	-	16																

大学名	新潟医療福祉大学
-----	----------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1262	1302	1347																
		入学者数	人	1236	1290	1294																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	0	0	0																
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,262	1,302	1,347																
		入学者数(B)	人	1,236	1,290	1,294																
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.98	0.99	0.96																
	収容定員等	収容定員(C)	人	4764	4924	5424																
		編入学定員	人	18	18	18																
		在籍者数(D)	人	4797	4899	4929																
		編入学者数	人	1	3	5																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.01	0.99	0.91																

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況			申請－5年	申請－4年	申請－3年	申請－2年	申請－1年	申請	選定		開設										
項目		単位																			
外部資金獲得額		千円	199,752	224,796	238,772	297,450	288,847	382,970	375,114	512,691											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間ににおける各年度の外部資金獲得額	千円	275,023
本事業による助成金の額(F)	千円	321,470
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	283,060

特記事項